

平成30年度外部評価会議結果（9/25実施分・評価グループ名【高柳町】）

<事務事業単位の評価>

小グループ名	事業No.	事業名	【参考】市長評価	委員評価集計	石坂委員	川瀬委員	品田委員	中村委員	中山委員	村田委員	
①高柳町事務所庁舎関連事業	214	高柳町事務所庁舎等管理費	【一部見直し】 庁舎機能をじよんのび村へ移設する。	【継続】:4名 【一部見直し】:2名 【休止】:0名 【廃止】:0名	No.214【継続】 No.215【継続】 No.216【継続】 複合施設としての機能もあり、この施設に他所を集約する方向で考える。	【継続】 当面、現在の庁舎機能を維持すべきと考える。庁舎移設については廃止の時期との比較になるのではないか。	No.214【一部見直し】 No.215【継続】 No.216【一部見直し】 多機能の統合の受け皿となるために庁舎施設は必要。その為にも事務所機能は本庁各担当課に移管すべきで、全体のサービス充実に資してもらいたい。	No.214【継続】 No.215【継続】 No.216【一部見直し】 No.225【継続】 地域の皆様の利便性を最優先にして差し上げたい。	No.214【継続】 No.215【継続】 No.216【継続】 現状のまま使用できる範囲で継続して実施する。	【一部見直し】 行政機能の内容を検討してはどうか。今後、本庁での対応可能なものはないのか。	
	215	高柳町事務所庁舎等除排雪経費	【一部見直し】 庁舎機能をじよんのび村へ移設する。	【継続】:6名 【一部見直し】:0名 【休止】:0名 【廃止】:0名		【継続】 庁舎機能があれば維持すべきと考える。				【継続】 豪雪地域での機能維持のため継続	
	216	高柳町事務所庁用車管理経費	【一部見直し】 庁舎機能をじよんのび村へ移設する。	【継続】:3名 【一部見直し】:3名 【休止】:0名 【廃止】:0名		【継続】 庁舎機能があれば維持すべきと考える。ただし、庁舎人員に見合う台数の再考は必要				【一部見直し】 職員9人で車6台は多い気がする。	
	225	パスポート発給事務費(高柳町)	【廃止】 利用件数が少ないことから事務処理は本庁で対応することとし、事務所では申請受理及び交付のみとする。	【継続】:1名 【一部見直し】:1名 【休止】:0名 【廃止】:4名	【廃止】 この業務を廃止することで軽減された負担を他業務に振り向けたほうが良い。	【一部見直し】 事務所が存続する間は、受付と交付は行えることが望ましい。発給は本庁へ移すことで問題ないとする。	【廃止】 本庁各担当課に移管すべき一例であり、廃止できると考える。			【廃止】 かつては県庁まで行って申請したことを考えれば、廃止もやむなし	【廃止】 利用件数が少ないため、本庁で対応すべき
②公共施設管理事業	219	高柳町総合センター管理費	【廃止】 本館部分の機能はじよんのび村へ移設する。体育館も建設から相当年数経過しており、街中からの利用者が一定程度あるものの、廃止する。	【継続】:0名 【一部見直し】:3名 【休止】:0名 【廃止】:3名	No.219【廃止】 No.220【廃止】 本館解体の平成36年度をもって、体育館も廃止し学校で代替する。	No.219【一部見直し】 No.220【一部見直し】 平成36年度の本館解体時に併せて体育館の廃止をしてもよいのではないかと。利用者が激減するようなら早めてもよいが。	No.219【廃止】 No.220【廃止】 費用対効果からも廃止もやむを得ない。事務所庁舎、小中学校、じよんのび村への移設でサービスの低下は防げるのでは。	No.219【一部見直し】 No.220【廃止】 No.631【一部見直し】 No.665【一部見直し】 No.768【一部見直し】 人口減少も深刻であるため	【一部見直し】 小中学校の体育館を積極的に社会体育に開放するなどして対応する。	No.219【廃止】 No.220【廃止】 利用者が少ないため廃止	
	220	高柳町総合センター除排雪経費	【廃止】 本館部分の機能はじよんのび村へ移設する。	【継続】:1名 【一部見直し】:1名 【休止】:0名 【廃止】:4名						【継続】 当分の間は継続する。	
	631	高柳産業福祉会館管理事業	【廃止】 建設から相当年数経過し、老朽化が進んでいるため、他施設への移転を視野に廃止する。	【継続】:1名 【一部見直し】:3名 【休止】:0名 【廃止】:2名	【廃止】 町事務所に統合する。	【一部見直し】 老朽化による移転はいずれやむを得ないが、商工会の移転先の配慮は必要	【廃止】 地域交流はコミセン、地場産業振興は本庁担当課へ移管し、指定管理契約終了時に廃止を進めてほしい。			【一部見直し】 高柳町商工会が高柳町事務所庁舎へ移転か移設をしてはどうか	
	665	農林水産物加工研究施設管理事業	【廃止】 他の施設のスペースと統合し、研究施設は廃止する。	【継続】:1名 【一部見直し】:2名 【休止】:0名 【廃止】:3名	No.665【廃止】 No.768【廃止】 利用者が少なく、メリットが見いだせない。	【一部見直し】 他施設への統合もやむを得ない。農業者の利用への配慮は必要	【廃止】 じよんのび村の運営主体が代替してほしい。			【継続】 No.665【継続】 No.768【継続】 現状のまま使用できる範囲で継続して実施する。	【廃止】 市内に統合できる施設があれば移設してはどうか。
	768	高柳地域共同作業施設管理費	【廃止】 利用者及び利用希望者がいないのであれば廃止する。	【継続】:1名 【一部見直し】:1名 【休止】:0名 【廃止】:4名		【廃止】 利用者がいないことから廃止はやむを得ない。	【廃止】 利用者もなければ早急に解体が望ましい。			【廃止】 利用者も少なく、老朽化も進んでいるため	

小グループ名	事業No.	事業名	【参考】市長評価	委員評価集計	石坂委員	川瀬委員	品田委員	中村委員	中山委員	村田委員
③ 交流観光推進事業	770	地域活性化イベント支援事業(高柳町)	【一部見直し】イベントの統合や実施形態等、大幅な見直しを図る。	【継続】:1名 【一部見直し】:5名 【休止】:0名 【廃止】:0名	【一部見直し】外部からの誘客が見込めるイベントに集中投資すべき	【一部見直し】地域へ渡すだけでなく、観光協会や本庁との協力も得て事業の方向性を結論づけるべき	【一部見直し】年3回のイベントでは限られた資源のもと、内容充実はきつい。年1回1つのイベントに注力すべき	No.770【継続】 No.772【継続】 No.778【継続】 担い手問題もあるが、町としての器で活性化させる。	【一部見直し】事業の統合や見直しを図り地元負担を軽減する。	【一部見直し】イベントを通じ、更に地域の魅力を SNS 等で発信してほしい。いろんな団体とコラボしてはどうか
	772	誘客宣伝事業(高柳町)	【一部見直し】高柳町観光協会と柏崎観光協会の統合を進め、組織の見直しを図れないか。	【継続】:1名 【一部見直し】:5名 【休止】:0名 【廃止】:0名	No.772【一部見直し】 No.778【一部見直し】 農村観光地として全市一丸となって誘客を図るため、市協会との統合は必要と考える。	【一部見直し】観光協会や市民の意向も汲みながら活性化が必要	【一部見直し】事業内容は柏崎観光協会及び本庁担当課へ移管できると思う。		【一部見直し】将来的には柏崎観光協会へ統合する。	No.772【一部見直し】 No.778【一部見直し】 柏崎観光協会との統合が望ましい
	778	交流観光促進事業	【廃止】誘客宣伝事業(高柳町)と統合した上で、事業は柏崎観光協会へ委託を行う。	【継続】:1名 【一部見直し】:4名 【休止】:0名 【廃止】:1名		【一部見直し】観光事業として観光協会への事業精査が必要	【廃止】事業内容は柏崎観光協会及び本庁担当課へ移管できると思う。事業の統合で廃止は可能			【一部見直し】柏崎観光協会と共同で実施する。
④ 交流観光施設管理事業	773	じょんのび村管理費	【一部見直し】集客力の更なる向上を図るために、見直しを行う。	【継続】:1名 【一部見直し】:5名 【休止】:0名 【廃止】:0名	No.773【継続】 No.774【継続】 観光施設として不断の改善とサービス向上の努力を続けるべきである。	No.773【一部見直し】 No.774【一部見直し】 集客が望める事業であり、更なる事業拡大への工夫が必要と考える。	No.773【一部見直し】 No.774【一部見直し】 計画的な改修は必要。指定管理者の運営力向上が求められる。	No.773【一部見直し】 No.774【一部見直し】 No.775【一部見直し】 地域の皆様のご意見を最優先にして差し上げたい。	No.773【一部見直し】 No.774【一部見直し】 集客力の向上を図るための策を考える。	No.773【一部見直し】 No.774【一部見直し】 集客力はあるので、SNS等を有効に使用し、更に魅力を発信してほしい。
	774	じょんのび村整備費	【一部見直し】集客力の更なる向上を図るために、見直しを行う。	【継続】:1名 【一部見直し】:5名 【休止】:0名 【廃止】:0名						
	775	高柳町地域交流観光施設管理費	【一部見直し】利用者が少数のため、門出・荻ノ島かやぶきの里以外の施設(黒姫キャンプ場、門出パーク、旧月女湯荘、案内看板等)は廃止する。	【継続】:0名 【一部見直し】:5名 【休止】:0名 【廃止】:1名	【一部見直し】利用者の実績を見極め、廃止することで高利用施設への集中投資を図る。	【一部見直し】県の施設もあり、柏崎市として高柳としての残す事業に特化してもよいのではないか。	【一部見直し】市長評価どおり		【廃止】利用者の少ない施設は廃止の方向で	【一部見直し】利用者が少なく、改修、修繕ばかりに費用がかかってしまうため、施設の廃止も含め検討すべき

<評価グループ全体を通じての自由記載>

(石坂委員) 高柳町の人口減少は進行中であり、この流れを止めることは不可能に近い。散在する施設の統廃合は不可避と考える。農村山の観光地としてのポテンシャルは認めるところであり、全市一丸となった観光振興策で市街誘客を図るとともに、市民の利用促進も必要と考える。その際、複数のイベント、祭の選別・取捨選択でポイントを絞る必要もある。

(川瀬委員) 事業が多く、人口が減少・高齢化して地区の維持もいずれ難しくなることが考えられることから、集約と廃止、補助金等も考慮した事業見直しを望みます。住民への説明と理解も丁寧をお願いしたい。

(品田委員) 旧高柳町時代からの既得権と映るもの、特に施設的なものは、時の流れと共に市全体のバランスも考え、統廃合が求められる。

(中村委員) おいしいお米や伝統ある祭り、美しい茅葺き屋根造りの集落景観等、全国的にも知名度があり、これぞ柏崎と誇れる素晴らしいものが高柳町には多く受け継がれています。それらの素晴らしい事象を守り、生活を営まれている高柳町の皆様が、今後ご不便に思われることのないよう、市長をはじめお関わりの皆様の慎重なご英断を希望させていただきます。

(中山委員) 少子高齢化が進む高柳町の住民の姿は、おそらく柏崎市の多くの町内にも当てはまる課題を多く抱えている。コンパクトなまちづくりときめ細やかな市政運営かつ大胆な発想が大切である。

(村田委員) 高柳の魅力ももっと多くの方に知っていただき、来訪してほしい。施設の数と人口(利用人数)を更に検証すべきと感じる。